



特別公開の宝物も来館！

# 今、蘇る南北朝動乱の息吹一。

平安時代から室町時代の後半まで約450年にわたり九州で活躍した菊池一族。源氏物語や蒙古襲来絵詞、太平記など、名だたる書物に足跡を刻み、最盛期には中央にまで名をとどろかせた一大豪族でした。その歴史的・文化的資源は誇るべき地域の宝です。

今年、2019年は、一族の永い歴史の中で最も華やかな輝きを放った英雄・菊池武光の、生誕700周年という節目の年に当たります。武光は菊池一族の15代当主として南朝方の九州制覇を成し遂げ、菊池の最盛期を築き上げた、まさに菊池が生んだ一大英雄です。百戦錬磨の勇将として恐れられ、後の世には戦の神様として祭られたほどの人物ですが、その生涯は波乱に満ちたものでした。この展示会では、武光の築き上げた都やその戦績を橋本以蔵氏の絵画を通じて振り返りながら、菊池一族の黄金時代へと皆さまを誘います。



作画  
橋本 以蔵 はしもと・いぞう

元菊池市地域おこし協力隊。任期中の主な活動に「菊池アートフェスティバル」の企画・運営など。現在は、菊池一族の歴史文化資源を活用したまちおこし事業に取り組んでいる。アートや雑貨などを取り扱うオンラインショップをオープン予定。



(写真右) 八幡大菩薩旗[金鳥の御旗(写し)] 戦の先陣で掲げられていた御旗。金の鳥(カラス)は太陽を表す。徳嗣天皇が4人の皇子に与えたといい、現存するのは五條家に伝わるもののみ。今回は江戸時代に五條家で作られた写しを展示する。(期間限定展示)

(写真左) 御松姫子御能 濃良親王を慰労したことが起源とされ、中世の形態を保つ貴重な舞。毎年10月13日の菊池神社秋季大祭で奉納される。国重要無形文化財。



わいふ一番館

〒861-1331 熊本県菊池市隈府1番地  
TEL.0968-24-6630



米作り、二千年にわたる大地の記憶  
～菊池川流域「今昔「水稲」物語」～

菊池市、山鹿市、玉名市、和木町を流れる菊池川。2017年4月、菊池川が潤す肥沃な大地で連綿と受け継がれてきた米作りの文化が、文化庁に「日本遺産」として認定されました。平地の広大な土地を整備して水田を作り、山を切り拓いて棚田となし、海岸線に堤防を築いて干拓を行い、誰もがあきらめていた沼地までも、排水技術を編み出して豊かな実りを実現させた菊池川流域の人々。全国に米どころは数多く「お問合わせはこれの地形に応じた米作りの土地利用の跡が菊池市役所菊池へ旅プロ先着」の地蔵印0968-24-7267

